

あとがき

農産物の栽培に欠かすことのできない用水を供給するため、多くの疏水が張り巡らされており、また、水源となる山が浅く降水量も少ない地域では、ため池も多く造られています。信州が誇るおいしい農産物を育む疏水には、先人達の願いや積み重ねてきた歴史があり、風光明媚な景観も形成されています。

今回、全県に点在する100余の疏水を1冊にまとめました。各地で土地改良事業の計画や設計施工を任される農業土木技術者の皆さんには、参考書として活用して欲しいと思います。そして貴重な歴史や価値のある疏水が、農業者のみならず地域住民や都市の人々を含めた国民共有の資産として理解され、次の世代に確実に引き継がれて欲しいと思います。

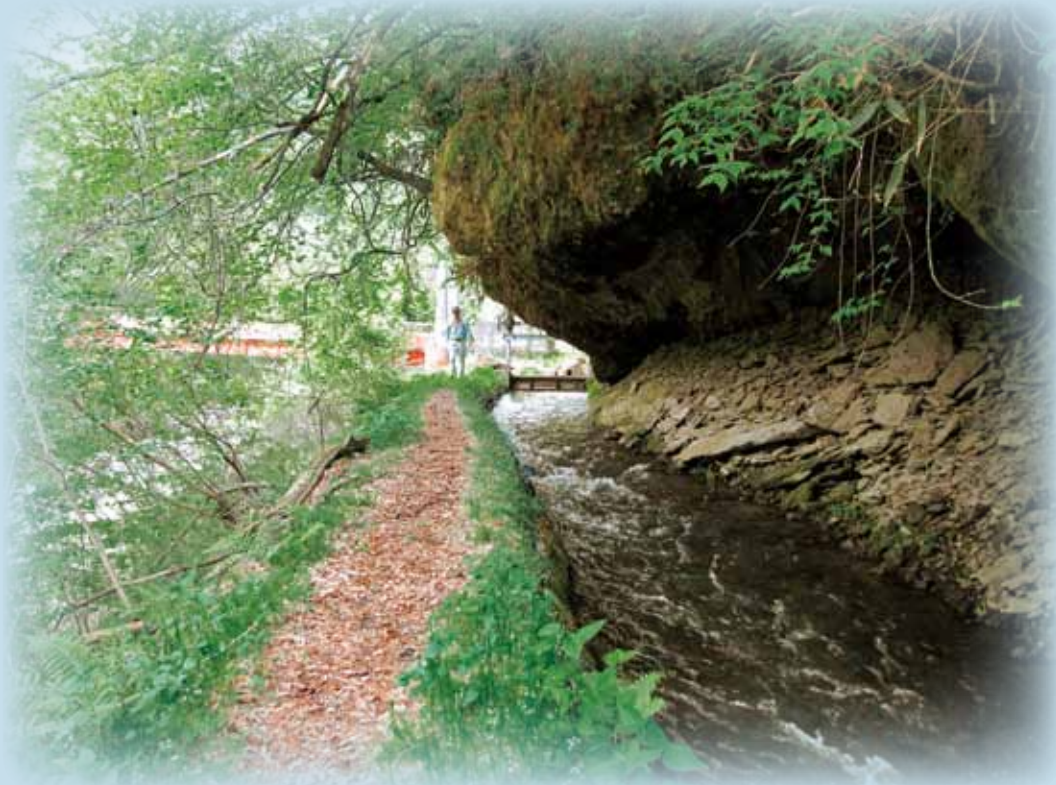
本誌の発刊にあたっては、長野県農政部農地整備課と長野県農業改良協会の担当者の方々に全面的にご尽力頂きました。また、県や市町村・土地改良区の皆さんには、執筆や写真撮影で大変お世話になりました。多くの皆さんのご支援に改めて感謝申し上げます。今後とも「ながの農業と生活」への連載が続き、さらに多くの疏水が紹介され次回に繋がることを期待します。

(平成29年3月)



梓山地区 レタスへの散水 (川上村)





岩を貫いて造られた滝之湯堰（茅野市）

発行

長野県土地改良事業団体連合会